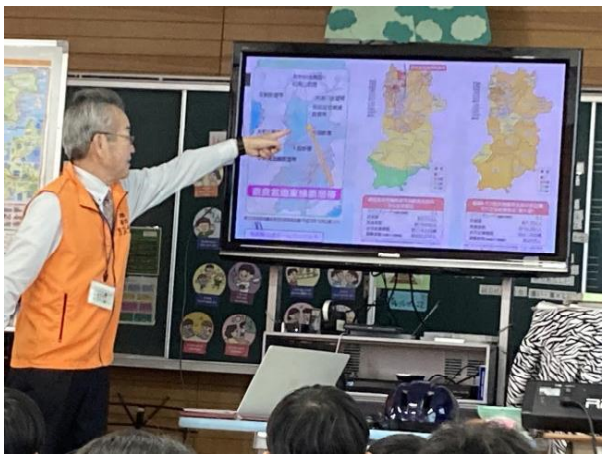
１月１６日（木）「５年防災学習AEDについて学びました」

１月16日（木）に5年生が、防災学習を行いました。葛城市防災士会の皆様にお越しいただき、「災害について」と「応急手当」について学びました。

奈良県内でも過去に大きな地震があり、葛城市内でも30年前に阪神淡路大震災で震度4あり、大きく揺れたことや、近い将来起こるであろうと言われている南海トラフ地震も向けて、備えることを教えていただきました。

災害に備えてやるべきことは、「ハザードマップを見えるところに貼る」「どこで家族と集合するのか決めておく」「災害グッズを備えておく」です。災害があった時には、自分の身は自分で守るということを教えていただきました。

次に、けがをしたときや骨折したときの応急処置の仕方や心肺蘇生法でとAEDについて学習しました。子どもたちは、胸骨圧迫を30回するのは、大変そうでしたが、コツを掴んで、音が鳴るように力強く圧迫することができるようになりました。また、「AEDを初めて使ったけれど、体験してみて使い方を覚えることができた。実際にそのような場面に自分がいたら、使って命を守りたい。」と感想を述べていました。地震に備えて、たくさんのことを学ぶことができました。



災害についてのお話

心肺蘇生法について

心肺蘇生法の体験

応急処置の仕方

お礼を伝えている様子